

かめおか 市議会だより



亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまる

2026年(令和8年)1月31日

わがまちトーク 開催重ねさらなる進化



委員会で否決 市長は撤回 物価高騰対策など補正予算可決

かめおか応援クーポン配布、子育て応援手当、水道基本料金の免除

「企業立地促進条例の廃止議案」
廃止理由の丁寧な説明を要求



産業建設常任委員会の審査より



否決した議案とは？

【企業立地促進条例の廃止】

廃止しようとした条例は、企業を誘致するために、立地奨励金（固定資産税に相当する金額）や雇用奨励金（市内従業員の雇入れに対する）を交付することを定めたもので、これを廃止しようとする議案です。

市長は、企業誘致に関するニーズ等について再度精査するとして議案を撤回しました。
◎これらを質疑したが、明確な答弁が得られなかつたため、採決では委員全員が反対。



議案一件を否決

可決議案にも指摘

議案は慎重に審査し、市民目線ではつきりとモノを言う姿勢を貫きました。12月議会では、これらの観点に基づき、委員会で議案一件を否決しました。これは10年ぶりのことです。また、別の議案では、反対意見や修正案が出され、賛成した議員からも厳しい指摘や要望が出されました。議案審査の様子を、産業建設常任委員会の審査からピックアップして紹介します。

◆土地を手放す地元地権者に何も説明がされていないのは手順が前後しているのではないか。
◆廃止するより、拡充する改定案を出すべき。
◆新たな施策とセットで提案すべき。

◆京都銀行亀岡支店跡地を市が取得する意義と活用方法が不透明で拙速に補正予算で買うべきものではない。
◆市場調査が不十分なので需と供給の調査を徹底すること。地元の要望を汲み取って、今後のまちづくりにも寄与するものに。

12月議会で可決した主な議案とその内容

【一般会計補正予算】(総額35億8820万円)

- 商工業振興対策経費(4億9280万円 市民一人当たり5,000円分のクーポン配布)
- 子育て応援手当支給経費(2億8700万円 子ども一人あたり2万円を支援)

【水道事業会計補正予算と一般会計からの繰り出し】(238万円+1億5300万円)

- 水道基本料金の免除(令和8年度1,2期分(4か月間)の基本料金免除)

はつきりモノ言う市議会
不十分・不明瞭なものは認めない
なぜ否決に？

市 の 主 張

◆制定から約40年を経て、本市では奨励金を出さなくては企業が集まつてくるようになつており、この条例は役割を果たした。

議会（委員会）の主張

◆京都銀行亀岡支店跡地を市が取得する意義と活用方法が不透明で拙速に補正予算で買うべきものではない。
◆市場調査が不十分なので需と供給の調査を徹底すること。地元の要望を汲み取って、今後のまちづくりにも寄与するものに。

反対議員の主張

◆賛否が分かれた議案

【一般会計補正予算のうち、観光推進経費の用地取得に係る増額補正】

削除する修正案を出す。

はつきりモノ言う市議会
不十分・不明瞭なものは認めない
なぜ否決に？

市 の 主 張

◆制定から約40年を経て、本市では奨励金を出さなくては企業が集まつてくるようになつており、この条例は役割を果たした。

議会（委員会）の主張

◆京都銀行亀岡支店跡地を市が取得する意義と活用方法が不透明で拙速に補正予算で買うべきものではない。
◆市場調査が不十分なので需と供給の調査を徹底すること。地元の要望を汲み取って、今後のまちづくりにも寄与するものに。

反対議員の主張

◆賛否が分かれた議案

【一般会計補正予算のうち、観光推進経費の用地取得に係る増額補正】

削除する修正案を出す。

かめまるくんと
しんがくんの
議会とーく亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまる石田梅岩イメージキャラクター
しんがくんかめおか市議会だより
Vol.207

市民の暮らしや経済活動を応援する
補正予算や条例が決まったよ

否決・修正・指摘要望
市民目線で厳しく審査したよ

回を重ねるごとに進化した手法で充実した場づくりがで、今年も好評だったよ。広聴部会では1年間の活動を振り返って、良いものは残しながらさらなる前進を目指そうとしているよ!

【4・5ページへ】

市民に必要な事業を行うための補正予算や条例がいくつか決まったよ。議会からも「ハラスメント防止条例」や「議員報酬に関する条例」を出して審議したよ。なかには賛否が分かれるものもあつたよ。

【3・6・7ページへ】

今回出された「企業立地促進条例の廃止」議案は説明が不十分として10年ぶりに委員会で否決され、議案が撤回されたんだ。いろんな条例や補正予算など、情報が正確じゃないと議会も説明責任を果たせないからね。全議員が市民の視点に立つて、厳しくチェックしているよ。

【3ページへ】

今年の「わがまちトーク」はどうだったの？

ところで12月議会ではどんなことが話し合われて、何が決まったの？

否決された議案もあつたって聞いたよ。

亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまるかめおか市議会だより
Vol.207

広報広聴会議の広聴部会で、この1年間の広聴活動を振り返りました。「さらに開かれた議会を市民に身近に感じていただく機会とし、市民の意見を把握し、議会活動に反映させる」という目的にそって、大きくは以下の3つに取り組みました。

広聴活動のページ

1年の活動をふり返る



街頭インタビュー



5月18日(日)
JR亀岡駅周辺にて実施
市民63名にインタビュー
「議会モニター制度」と
「わがまちトーク」の認知度をシール投票で調査して対話

夏休み子ども議場見学会



8月9日(土)
小学生14名参加
・議会たんけん
・議場登壇体験
・市議会クイズ
・議員に質問など

それぞれの取組について、様々な手段で広報したこともあって、今年は、子どもたちや若い世代の積極的な参加が多かったです。シール投票や付箋を用いたワーキングショップなどの手法や工夫は、自分の考え方や思いを表現することへのハードルを低くする役割を果たしました。参加者からも、雰囲気が良く話しやすかった、これがなければ、議会に声を届くことも効果を生み出すことにつながりました。

一方で、議会や議員の活動について知らない人や関心がない人が、まだまだ多いと痛感しました。多くの市民に知つてもらうことが、なかなか、議会や議員のことがよくわかつたなどの感想が寄せられています。取組の途中でも、もっとよくするためには改善しようと努力したことでも効果を生み出すことにつながりました。

一年間をふり返って

今年は4団体と行いました。テーマに沿い、付箋を用いたワークショップ形式で

書く 話す・聴く 見る 思う・考える

の順に進めました。開催を重ねるごとに、議員のファシリテーション(場を盛り上げ、舵取りをする支援の技術)も進化・充実しました。

わがまちトーク



11月5日
トキヨーコーヒー亀岡・Jun wa



10月15日
かめたんレザミtetote

トーカーテーマ
・亀岡市民から見る環境問題や
環境政策について
・意見交換だけに終わらず、1つでも
実現すれば嬉しいです

トーカーテーマ
・30後の亀岡
・これからも亀岡に残したいもの
・議員がフレンドリーで充実した時間でした
・もう少し時間を!



11月7日
旭町自治会

トーカーテーマ
・旭町の将来像について
・わがまち、ええどこ再発見!
・旭町にこれがほしい
・定期的に開催していただきたい
・他の地区でもやるとよいのでは

ママが思う子育ての
「こんなのがあったらいいな」

旭町の将来像について
・わがまち、ええどこ再発見!
・旭町にこれがほしい

開催を重ねるたびに進化を

大西 陽春 議員
・事前打ち合わせもしっかり行い、うまく実施できた。
・参加者に合わせた工夫もできた。
・意見が引き出しやすい活動ができた。

林 徹司 議員(広聴部会長)
・SNSを活用した広聴活動を。
・幅広い世代の多様な声を集め、意見交換できる機会を設定したい。
・自治会やたのちの会実行委員会とのわがまちトークは継続を。

木村 熱 議員(委員長)
・議員が出向き、幅広い意見を聴くことで理解を深められる。
・中学生・高校生の声を聴く機会を検討する。

大塚 建彦 議員
・議会や議員の役割を知つてもらうことが大事。
・広聴活動の内容は年々充実していると感じる。
・計画的に準備も整え実施できた。

山木 裕也 議員
・多くの活動が継続できてよかったです。
・参加の広がりをつくることが今後の課題。
・市民の声を反映させる場をつくることを検討する必要があるのでは。



先進的な自治体では「ワールドカフェスタイル」(小グループのメンバーを一定時間で交代して、カフェのように気軽に話す方式)が主流となっているので、それらを取り入れられたらいいですね。出された意見が実現できるよう、議会としても努力することは大事ですが、なによりも主眼は、取組をとおして、まちづくりの主体者としての意識を参加者に持つていただきこと、議会や議員の活動に関することです。将来、まちづくりの主役になる人や、議員をやってみようと思う人がたくさん生まれるといいですね。

今後は、広聴部会の議員だけではなく、全ての議員がファシリテーターや全体進行役となるように役割分担やオブザーバー参加の在り方なども考えていくまです。

「書く」作業のあと、参加者に付箋に書かれた内容ごとに仲間分けしてまとめる作業をしてもらうことで、自他の考えが整理できるようになりました。一方で「思う・考える」の時間が十分に取れなくて、これからどうしていけばいいのかを共有することが不十分でした。

修正案

発議者	件名
大西 陽春 議員、片山 輝夫 議員、三上 泉 議員	令和7年度一般会計補正予算(第4号)修正案

※修正案に対する提出者の説明内容は
こちらをご覧ください。



本会議での討論

※討論の内容はこちらをご覧ください



議員名	件名	賛成/反対
大西 陽春 議員	亀岡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	反対
三上 泉 議員	令和7年度一般会計補正予算(第4号)修正案	賛成

議員名	件名	賛成/反対
三上 泉 議員	令和7年度一般会計補正予算(第4号)	反対
松山 雅行 議員	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	反対

全員賛成で可決した議案

各議案の内容は、亀岡市ホームページに掲載しています。詳しくはこちら →



付託先	件名
総務文教常任委員会	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例等の一部改正
	亀岡市一般職員の給与に関する条例の一部改正
	亀岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
	かめおか防災広場設置条例の制定
	亀岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正
環境市民厚生常任委員会	令和7年度亀岡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
	令和7年度亀岡市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
	令和7年度亀岡市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
	令和7年度亀岡市病院事業会計補正予算(第2号)
	亀岡市立保育所条例及び亀岡市立認定こども園条例の一部改正
	亀岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正

付託先	件名
環境市民厚生常任委員会	財産の取得
	損害賠償額の決定
	令和7年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)
	令和7年度亀岡市水道事業会計補正予算(第1号)
	令和7年度亀岡市下水道事業会計補正予算(第2号)
産業建設常任委員会	亀岡市自然環境を重視した食と農のまちづくり条例の制定
	亀岡市水道事業給水条例及び亀岡市下水道条例の一部改正
	川の駅・亀岡水辺公園に係る指定管理者の指定
	令和7年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)
	令和7年度亀岡市水道事業会計補正予算(第2号)
	亀岡市議会ハラスメント防止条例の制定
	議員の派遣



各議案の内容は、
亀岡市ホームページに
掲載しているよ。

賛否の分かれた議案

○賛成
×反対、態度保留など

付託先	件名・結果	会派名	新清流会		経政会		躍動～輪の風～		亀岡有志の会		共産党議員団		公明党議員団										
議員名	法貴隆司	小林仁	大石慶明	福井英昭	菱田光紀	西口純生	大塚建彦	浅田晴彦	平本英久	齊藤一義	竹内博士	梅靖博	土岐新	松山雅行	原野実生子	山木裕也	木村勲	大西陽春	片山輝夫	三上泉	林徹司	富谷加都子	山本由美子
修正案	令和7年度一般会計補正予算(第4号)	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	
総務文教 環境市民厚生 産業建設	令和7年度一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
環境市民厚生	亀岡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議1	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※小川克己議員は、議長職のため表決権はありません。

生涯学習推進経費	1010万円	ガレリアかめおかの防犯カメラ設備は経年劣化による故障や工具が発生しており、部品の供給期間終了等に
外國語指導助手派遣	(4年間)	国際理解教育の充実を図るため、外國語指導助手(A-L-T)を来年度から15名体制に拡大して小・中・義務教育学校に派遣する。
業務委託経費債務負担行為	3630万円	月1日付で会計年度(4年間)に、任用職員として任用する。

○学校に外國語指導助手を増員
【主な意見】 ガレリアあそびの森や今後の図書館をキッズステーション計画に基づき、多くの子どもたちでござわる施設となるよう防犯対策を充実させたい。
【主な質疑】 月1日付で会計年度(4年間)に、任用職員として任用する。

一般会計補正予算(第4号)可決(全員賛成)

より修繕対応ができるいため、機器の更新を行なう。

○ガレリアの防犯カメラ等を更新

○いじも誰でも通園制度がスタート

一般会計補正予算(第4号)可決(賛成多数)

「余裕活用型」、どちらの方法で実施するのか。

本市は「一般型」と「余裕活用型」、どちらの方法で実施するのか。

環境市民厚生常任委員会

環境市民厚生常任委員会

産業建設常任委員会

○城下町にぎわい創出に向けて
観光推進経費 4470万円増
本市の城下町としての歴史的資源を活かし、観光活性化を図るために、地域経済の活性化を図るために、観光情報発信・観光文化施設を整備するための経費を増額。
【主な質疑】 市が用地を取得する理由は。
【主な質疑】 実施に向けて事業者への周知状況は。
【主な質疑】 実施に向けた準備計画は。
【主な質疑】 事業の実施にあたって、国の認可基準に基づき、本市でも設備や運営に関する基準を定めるもの。
【主な質疑】 実施に向けて事業者への周知状況は。
【主な質疑】 事業の実施にあたって、その実績を踏まえて今後の派遣を考えていきたい。
【主な質疑】 市が用地を取得する理由は。
【主な質疑】 事業所との調整とこれまでの実績を考慮して決定した。
【主な質疑】 検討する予定は。
【主な質疑】 検討中であるが、記載できない場合は印刷物で通知する。

○市民生活支援と地域経済活性化
一般会計補正予算(第5号) / 水道事業会計補正予算(第2号) 可決(全員賛成)
商工業振興対策経費
水道事業費用 4億9280万円増
第8弾かめおか応援クーポン事業及び水道基本料金2期分免除に係るシステム改修経費等を額する。
【主な質疑】 クーポンの利用期間の設定根拠は。
【主な質疑】 検針票に減額理由を記載する予定は。
【主な質疑】 検討中であるが、記載できない場合は印刷物で通知する。

○市民生活支援と地域経済活性化
一般会計補正予算(第5号) / 水道事業会計補正予算(第2号) 可決(全員賛成)

梅本

ごみ袋のサイ

環境先進都市推進部長
保管期間が長いと
認識している。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

環境先進都市推進部長
資源、エネルギー
化を進める段階でサ
イズ変更などを検討
する。

獣被害に関して、有害
鳥を含めて、地域
一体で行うべきでは。
②制度周

原野
前向きな答弁
を得られたと考える。

産業観光部長
費と買取り価格の差
を補填する所得補償
も対応策の1つだと
考えるが、本市单独

主食の適正価格私案
2025.11.28 片山作成

米價格	米販売価格	流通費	米消費	生産費相当
4000円/kg	15,000円/kg	9,000円	9,000円	莫過3,000円
3500円/kg	12,000円/kg	9,000円	9,000円	莫過3,000円
米作付耕種量 1,300ha				
生産量 6,500t				
出荷数量 4,550t				
(500kg/10t)				
所得補償額 455,000千円				
(3,000円/30kg)				
販賣交付金 221,854千円				
適正価格 233,146千円				

(資料)主食の適正価格 私案

原野
国への鳥獣被害
を担う獣友会の高齢
化や担い手不足、後
継者の育成・確保な
どである。

市長
少に向けたICT機
器を活用する考
え。また、駆除と
侵入防止の両面か
ら、ほ場を防止柵で
覆い、箱わな設置な
ど、地域一体で行
うべきでは。

片山
米の適正価格
について、資料のと
おり検討した。再生
産が可能な制度を市
独自でも事業を創設
する考えはない。

市長
での事業実施は現
階で考えていない。
全国共通の実施の可
否を国で検討される
べきだと考える。

原野
制服のリユースも計
画している。4月か
らの入学や進学時の
利用に期待している。

市長
まえ、市民生活を支
援し、地域経渜振興
策として、食料品の
購入・支援を含むクー
リ方針を踏

市長
①維持管理方
法の面からも慎重に
判断する必要があ
り、状況に応じて考
えていきたい。3人
1組で申請すれば有
害鳥獣の柵費用の補
助金が支給される。
箱わな活用について
は課題点もあるた
め、地域でくくりわ
なに取り組むほうが
有用であり、関連
対策に対する議論を
する様々な補助もあ
る。②連携して鳥獣
対策に対する議論を
するには大変有用で
ある。国や府の補助
金も活用しながら、
対して制度の応援を
していきたい。

市長
①いかなる事
態が存立危機事態に
しているものではな
いと考えている。②
我が国は非核三原則
を堅持しつつ、対話
を通じた平和的な解
決に向けての努力を
尽くしていくべきで
ある。

原野
制服のリユースの両面
から、現予定はない
が、対象者の拡大や
負担軽減を見定め、
国の交付金を活用し
た事業を実施してい
きたい。

市長
が、対象者の拡大や
負担軽減を見定め、
国の交付金を活用し
た事業を実施してい
きたい。

市長
①いかなる事
態が存立危機事態に
しているものではな
いと考えている。②
我が国は非核三原則
を堅持しつつ、対話
を通じた平和的な解
決に向けての努力を
尽くしていくべきで
ある。

市長
での事業実施は現
階で考えていない。
全国共通の実施の可
否を国で検討される
べきだと考える。

法貴
国では責任あ
る積極財政の考
えの大型経済対策が
打ち出された。物価
高対策や起業支援
防衛力強化を掲げ、
重点支援地方交付金
が盛り込まれ、おこ
め券やプレミアム商
品券、水道料金の減
免、子育て支援給付
などの事業メニュー
が示されている。本
市では、国の経渜対
策をどのように活用
し、市民生活の支援
につなげていくのか。
市長

法貴
おこめ券の配
布は検討しているか。
市長
龜岡市は国に先
駆けて高齢者お米
購入応援クーポンを
配布した。今回、お
こめ券ではなく、
従前から本市で行
っている、かめおか応
援クーポンという形
で、市民一人一人に
給付していきたい。

法貴
頻発する震災に備えた強いまちづくりを急げ！
平本
本市は昭和57年3月29日に福祉都市宣言を行い、市民
福祉の増進に積極的に取り組んできた。本市の福祉の在り方
や、これまでから要望が強かつた加齢性難聴を補う補聴器の
取り組みで、これまでから要望が強かつた加齢性難聴を補う補聴器の
購入支援について、各議員の要約原稿を掲載しました。(文責は各議員にあります。)なお、他の質問項目については、亀岡市議会ホームページでご覧いただけます。
市長
様々な困難を抱えている方に対し、きめ細やかなサービスや寄り添った支援ができる福祉でありたいと考えている。加齢性難聴の高齢者に対する補聴器購入費助成については、他市の状況を踏まえながら、令和8年度当初予算への計上を検討する。

市長
購入支援についての
考えは。
平本
南海トラフ地震などの災害に備え、断水時に使用できる井戸の把握と活用体制はどうか。
平本
南海トラフ地震などの災害に備え、断水時に使用できる井戸の把握と活用体制はどうか。
市長
様々な困難を抱えている方に対し、きめ細やかなサービスや寄り添った支援ができる福祉でありたいと考えている。加齢性難聴の高齢者に対する補聴器購入費助成については、他市の状況を踏まえながら、令和8年度当初予算への計上を検討する。
市長
①いかなる事
態が存立危機事態に
しているものではな
いと考えている。②
我が国は非核三原則
を堅持しつつ、対話
を通じた平和的な解
決に向けての努力を
尽くしていくべきで
ある。

片山
高市首相の国
会答弁に対し、市民
から不安の声が寄せ
られているが、①「台
湾有事」②「非核
三原則の見直し」発
言について市長の見
解は。

片山
高市首相の国
会答弁に対し、市民
から不安の声が寄せ
られているが、①「台
湾有事」②「非核
三原則の見直し」発
言について市長の見
解は。

片山
高市首相の「台湾有事」や「非核三原則の見直し」発言への見解を問う
平本
南海トラフ地震などの災害に備え、断水時に使用できる井戸の把握と活用体制について、調査を実施したところ、現時点

片山
高市首相の「台湾有事」や「非核三原則の見直し」発言について市長の見解は。
市長
①いかなる事
態が存立危機事態に
しているものではな
いと考えている。②
我が国は非核三原則
を堅持しつつ、対話
を通じた平和的な解
決に向けての努力を
尽くしていくべきで
ある。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
入学準備費の軽減
軽減に向けて国の交
付金を活用し、市の
財政負担を抑えて支
援拡充が可能では。

梅本
ごみ袋の仕様
と利用実態との乖離
についての認識は。

梅本
ごみ袋

一般質問(個人)

一般質問(個人)

「乳がん早期発見への新たな選択肢「無痛MRI-乳がん検診」の導入を



山本由美子議員

山本 乳がん検診の受診率向上を阻む要因にマンモグラフィの痛みや精神的苦痛がある。①受診控えにより早期発見の機会を逃すことがないよう無痛・着衣で受診でき、高濃度乳房

にも有効な「無痛MRI-乳がん検診」を龜岡市立病院において導入する考えは、②検診費用の負担を軽減し、受診しやすくなるための助成制度は考えられないか。

山本 家庭用取水施設整備事業補助金は、一度利用すると10年間は再申請できない制限があり、飲用水確保への不安を招いている。制度をより改善できないか。

水道未普及地域の不安解消へ。補助金の「10年制限」を見直し柔軟に

市長 ①来年4月実施を目標に検討を進めよう指示を出している。②ふるさと納税を財源に、一度半額程度補助して、状況を見ていきたい。

山木 上下水道部長 災害緊急時は、要綱で「市長が認めるときは補助対象者とすることができる」と定めており、状況に応じて柔軟に対応していただきたい。

市長 環境先進都市としての歩みと、人自然、未来を育む取組を象徴する存在として制定した。コウノトリが舞い降りる未来を目指して、環境先進都市として歩みを進めていきたい。

市長 環境先進都市としての歩みと、人自然、未来を育む取組を象徴する存在として制定した。コウノトリが舞い降りる未来を目指して、環境先進都市として歩みを進めていきたい。

市長 環境への配慮や、生物が豊富に生育できる田んぼづくりに取り組んでほしい。

市長 環境への配慮や、生物が豊富に生育できる田んぼづくりに取り組んでほしい。

市の鳥「コウノトリ」が舞う生物多様性のまちづくりを

小学6年生の修学旅行、広島への平和学習充実に向けて

浅田 平和学習の校外授業として広島県に行く前に高学年を中心にして、漫画「はだしのゲン」を読む機会を積極的に進めては。

浅田 平和学習の校外授業として広島県に行く前に高学年を中心にして、漫画「はだしのゲン」を読む機会を積極的に進めては。

教育部長 事前に子供たちが平和の大切さを深く理解できるように取り組んでいる。議員提案の「はだしのゲン」を含め、様々な教材を組み合せながら、平和学習のさらなる充実に努めています。



JR並河駅ロータリー内の安全確保を



土岐 新議員

JR並河駅ロータリー内は市道であるため、事前に公安委員会との協議

土岐 JR並河駅ロータリー内は市道であるため、

一般質問(個人)

一般質問(個人)

住民主体の移動支援事業の維持と確保策の充実を求める



富谷 加都子 議員

150人以上が利用されているため、担当課や運行主体と協議し、補助対象となる部分がないか再確認する。

富谷 交通空白地等地域生活交通事業補助金制度において交通不便地を含む地域で交通を支える団体に対しても、補助対象を再検討できないか。

まちづくり推進部長 交通不便地は補助対象地域であり、まちづくり推進部長

交通不便地は補助対象地域であり、まちづくり推進部長

富谷 人材確保策として、補助金対象者以外にも、ドライバー講習の実施を検討できなか

富谷 感染対応を行つてある事業所に対し、経済負担への支援策を求める

富谷 人材確保策として、補助金対象者以外にも、ドライバー講習の実施を検討できなか

市制施行70周年を踏まえて、大合併の経緯を知ることは大切



福井 英昭 議員

市長 戦後の日本では、各自治体の財政が厳しい中、国が合併を勧め、昭和28年以來、南桑田郡でも全村合併の議論が始まつた。中学校ブロックで4つに分けて合併する案やその他の案もあつたようである。

福井 合併に際して各村ではどのような経過があつたのか。

市長 篠村は京都市福井

福井 4年後、篠村が編入した経緯は。市長 篠村では京都が編入した経緯は。

福井 先人の努力や思いを胸に、私達はまちづくりを進めていきましょう。

茨木市との広域観光連携に併せて湯の花温泉の活性化を



大石 慶明 議員

の両市を周遊するツアーチの造成を協議するとともに道路整備についても京都府、大阪府に要望していく。湯の花温泉活性化については、今年度に「ゆあみのさと構想検討委員会」を設立したところであり、活性化のための具体的な策提案を検討している。

大石 8月に茨木市と広域観光連携を締結したことは素晴らしいと考える。これに併せて湯の花温泉のさらなる活性化にも取り組むべきでは。

市長 当市と茨木市

大石 不登校児童生徒が全国で35万人を超えた。児童生徒に寄り添つた対策が必要であり、特に学習意欲がある子どもをフォローすることが重要であると考える

市長 今回の合併を希望していたが断念。西別院村は大阪府、東本梅村は船井郡への編入が議論された。最終的に櫻田村が高槻市に編入、西別院村の一部も豊能町に編入、東本梅村は一旦船井郡に属したが、現行の部分は亀岡市に編入した。

西口 以前、保津川再度子どもたちが夢の挑戦を



西口 純生 議員

西口 以前、保津川開削400年を記念した。子どもたちが英国王室に「私たちと保津川下りをしませんか」と手紙を送つたが、その時は実現かつた。このたび20年ぶりに英国王室へ手紙を送ることに成功した。子どもたちの夢を叶えるために市長の知恵を借りることはできないか。

市長 来年開催の全国都市緑化フェアin京都丹波では、亀ガーデンを英国王立園芸協会主催の

千代川駅前駐輪場の有効活用を!



松山 雅行 議員

市長 駅周辺は人が集まるエリアであり、JR千代川駅の駐輪場活用について議論し、スペースをどのように形で有効活用できるか検討している。

松山 空きスペースを活用し、図書機能を整備することで、結果的に世代間・地域間の交流が生まれると考えるがどうか。

市長 小浜京都ルートを否定しているわけではないが、国において、新たに8

松山 協議会の会長として、維新・自民の与党プロジェクトチーム(P-T)でルートの再検証が行われようとしていることへの所見は。

市長 小浜京都ルートを否定しているわけではないが、国において、新たに8

2月議会の予定

2月 9日	2月 10日	2月 11日	2月 12日	2月 13日	2月 14日	2月 15日	2月 16日	2月 17日	2月 18日	2月 19日	2月 20日	2月 21日	2月 22日	2月 23日	2月 24日	2月 25日	2月 26日	2月 27日	
本会議など																			
予算特別委員会	議会運営委員会	本会議(議案採決)	予算特別委員会	議会運営委員会															

※この日程は予定であり、変更となる場合があります。
※その他の委員会などの開催についても、随時ホームページに掲載します。

2月議会の予定

2月 9日	2月 10日	2月 11日	2月 12日	2月 13日	2月 14日	2月 15日	2月 16日	2月 17日	2月 18日	2月 19日	2月 20日	2月 21日	2月 22日	2月 23日	2月 24日	2月 25日	2月 26日	2月 27日	
本会議など																			
予算特別委員会	議会運営委員会	本会議(議案採決)	予算特別委員会	議会運営委員会															

市民の声

亀岡市が子育て世代に力を入れ、住みやすいまちになっていることは大変喜ばしく感じています。その一方で、これまで亀岡を支えてこられた高齢の方々にも、少し目を向けていただきたいなと感じました。



議会モニター
中山 友加里さん

本会議を傍聴して

ニターへ資料を映し出す際、傍聴席にもモニター設置されているとよりよい傍聴ができるのではないかと思います。

また、用意されている定例会資料については受付後、QR読み取りで資料の確認ができるようペーパーレスにつなげてみていかがでしょうか。



議会モニター
平野 愛さん

本会議への傍聴をさせていただきました。一般質問の中で議場のモニターへ資料を映し出す際、傍聴席にもモニター設置されているとよりよい傍聴ができるのではないかと思います。

今年は、市制施行70周年という節目の年であり、これまでの歩みに対して深い敬意を表すとともに、次世代を担う若い世代とともに未来を描く責任を改めて実感いたしました。亀岡市議会におきましても、これから亀岡のまちづくりに積極的に取り組み、市民の皆様との対話を大切にしながら、信頼される議会運営に努めてまいります。

副議長 大塚建彦



12月議会を終えて

次代を担う世代とともに 未来を描く責任を実感

令和7年12月議会では、今年最後の補正予算をはじめ、亀岡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する条例の制定やかめおか防災広場設置条例の制定など、生活に密着した議案について審議し採択されました。市民の目線に立った丁寧な議論が展開できたことは、大きな意義があると感じております。

今年は、市制施行70周年という節目の年であり、これまでの歩みに対して深い敬意を表すとともに、次世代を担う若い世代とともに未来を描く責任を改めて実感いたしました。

亀岡市議会におきましても、これから亀岡のまちづくりに積極的に取り組み、市民の皆様との対話を大切にしながら、信頼される議会運営に努めてまいります。



『伝えた』と『伝わった』は違うことを感じつつ、少しでも議会の『今』が『伝わる』ように、試行錯誤、日進月歩、頑張ります!

〈竹内広報副部会長〉

議員になって11年。広報一筋でした。弛みない改革の足あとをみることができます。まだ進化の途上です。今後も頑張ります。〈三上広報部会長〉



竹内
博士
議員
三上
泉
議員
梅本
議員
小林
仁
議員

多くの市民の皆さんに手に取ってもらえるようにと、編集に携わってきました。議会だよりが、亀岡市議会に関心を持つていただけるきっかけになれば幸いです。

〈梅本委員〉

議会だよりが心に残り、議会傍聴に来てくださいるように前進ある活動に努めます。〈小林委員〉

新体制での一年を振り返り

広報部会

いつも亀岡市議会だよりを、愛読いただきありがとうございます。今年度は、街頭インタビューや子ども議場見学会、わがまちトーク（4団体）を実施しました。わがまちトークでは、トーク前にアイスブレイクを取り入れて和やかな雰囲気の中で意見交換を行つていただきました。今後も亀岡市議会だよりについて、市民の皆様に興味を持つていただき、多くの方々にお読みいただけるよう、さらに内容を充実させた議会だよりの発行に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

広報広聴会議委員長

木村
勲

編集後記